

SHARP

シャープ社友会

栃 木 支 部

第18号

日光

栃 木

発行責任者
岩 村 博



タイトル

紺碧の空に、燦々と輝く日の光、緑豊かな大地。自然に恵まれた栃木をシンボルにすると共に、世界遺産に登録された当地を代表する観光名所でもある「日光」を表します。

カラーコンセプト
信号のR・G・Bをイメージし、A・Vシステム事業本部のロゴマークを象徴しています。又、緑は社友会のシンボルカラーでもあります。

ヤシオツツジ

日光の春の訪れはヤシオツツジの開花と共にやってくる。ヤシオツツジは栃木県花でもあり、この花が咲きだす頃一斉に樹木の芽吹きが始まる。

撮影：田代宏明（会員番号 3061）

ホームページの 立ち上げを検討

栃木支部長
岩村 博



昨年の総会で支部長に就任し、一年間活動をしてきました。活動にご理解とご協力を頂きありがとうございました。会員も年々増えており社友会の運営面では、役員・幹事・会員皆さんの支えが必要です。

さて、今年度の活動は、会員も社会への貢献を支援していくという事でシャープグリーンクラブを推進主体として地球の環境保全活動などボランティア活動の取り組みに参加していきます。労働組合から栃木支部との連携をもち労働組合からの要請についても役員会・幹事会で協議していきます。

栃木支部ホームページの立ち上げを検討します。また、いまは4クラブありますが新しく1クラブ増部すべく検討します。

会員が各クラブで・行事で・また、日常生活の中で顔をあわせ楽しく過ごす日々になれば良いと思っています。会員の皆さんが一人でも多く参加できる行事・共に楽しく過ごせる企画等々も取り組んでいきます。

私は、いま環境問題に関心をもっております。地球温暖化で何か大変な事がおきるのではないかと不安です。私達の身近な事で出来る事から地球環境問題に対する意識・関心をもっていたきたく思っています。

京都議定書で日本は二酸化炭素の排出削減枠として6%のうち森林吸収分は3・9%まで認められています。日本が国際公約を守るかは森林の力にかかっています。

日本は国土の67%が森林、栃木県は55%が森林です。栃木県でも緑豊かな環境をつくり育て、守るための指針

となる緑化基本計画が提示されました。

森林破壊が地球規模で広がっています。危機にあえぐ地球の森林を救おうと企業やNPO法人などが森林再生に立ち上がっています。

シャープも「環境先進企業」をめざし、世界各地の拠点で植樹活動が行われ、地球環境のために行動しています。

私は、自分が好きなゴルフを通して、プレーする人にも地球温暖化問題への関心をもってほしいという思いもこめて、森づくりの使用目的にあわせて「使途限定募金」を導入したゴルフコンペを企画しています。このコンペに参加した人は「森とみどり」の募金として200円以上の協力をお願いし、集まった募金と同額をゴルフ場からも出してもらう事になっています。

毎回7万円前後の募金になっており、ゴルフ場の一面にみどりの丘をつくり植樹しています。今後も年2回の開催を継続していく思いです。

やっぱり「みどり」って人間にはなくてはならないものですね!!

二〇〇六年社友会あいさつ

シャープ労働組合

栃木支部

執行委員長

印南 幸裕



社友会恒例の総会の開催、大変おめでとうございます。日ごろは岩村支部長をはじめ多くの皆様に労働組合の活動に對しましてご理解とご協力を頂いている事に心より感謝申し上げます。

さて、シャープは大型液晶テレビにおける世界的な位置づけを確かなものにする為に、亀山の第2工場に巨額の設備投資を行いました。亀山の工場で生産される大型の液晶パネルを使い、矢板工場では、中型の液晶テレビの生産に加え、一部大型のテレビ生産など、引き続き忙しい状況が続くことが予想されます。矢板工場では当面、地上波デジタル放送の商品や液晶テレビの高品質化の対応などでシャ

ープのブランドイメージを高めつつ、雇用を守っていくと考えています。引き続き諸先輩の皆様には、シャープの仲間の一員としてご支援を頂きたいと存じます。

また、来年の4月には『中村ひさのぶ』矢板市議会議員が2回目の挑戦を行います。前回が初挑戦ということでは知名度が無くなかでした。今回は定数が二十二名から十六名と六人が減員となり厳しい選挙戦が予想されます。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

シャープ社友会栃木支部の益々の発展と会員皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます。

矢板市議会議員

中村ひさのぶ

社友会の皆さまには、日頃より議員活動に對しまして、ご指導ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

支援を賜り、矢板市議会に送って頂き四年目を迎えました。この間、欠かさず行っている一般質問などを通し『夢と笑顔のまちづくり』の実現を目指し頑張ってきました。

昨年十二月議会及び本年三月議会では、通学路の安全対策や防災無線の整備、小中学校

の校舎や市役所庁舎、公民館などの耐震強度の確保などについて当局の考えを質し、一定の前進を図ることが出来ました。

現在、矢板市は厳しい財政の中、財政健全化計画を策定し行財政改革に取り組んでいます。行政の高効率化とメリハリのある財政運営が求められ、市民生活の向上と将来の発展のために、みんなで知恵を出していかなければならないと感じています。

来年四月には二期目の選挙となり、定数が現在の二十二名から六名減の十六名と大変厳しい選挙が予想されますが、皆様の代表として、引き続き魅力のある住みよい矢板市を目指し頑張っていく所存でございます。

皆様方の更なる叱咤激励、力強いご支援を賜ります様お願い申し上げます。



第十八回

支部定期総会を開催

五月二十六日（金）大田原市ふれあいの丘
シャトーエスポワールに於いて、第十八回支
部定期総会を開催いたしました。
来賓四名と、会員五十四名参加のもと増田
善一氏を議長に選出し、議案書に基づき審議
を行なった結果、議案書通り全て承認されま
した。
審議終了後懇親会を催し散会致しました。



第18回総会 出席者



参加者全員で議案審議



岩村支部長の開会挨拶



懇親会



来賓を囲んで顧問も談笑

『シャープグリーンクラブ活動に』参加

社会貢献の一環として、シャープグリーンクラブ（SGC）のボランティア活動を三月十八日（土）に那須塩原市の烏ヶ森公園、矢板市の長峰公園と運動公園そして、さくら市の勝山城址公園の四ヶ所で清掃作業を実施した。

各会場ではシャープの社員や、協力会社の社員が参加する中、我々社友会メンバー二十六名も参加した。

主会場である矢板市の長峰公園では、矢板市の遠藤市長をはじめ七人の市職員も参加、行政としても我々のSGC活動に関心を寄せ、期待もしていることがうかがえた。

これら、四会場は栃木県北の「桜の場所」として知られている公園で、桜の時期に先駆けて公園周辺の美化を行ったものである。

社友会としては昨年から、このSGCのボランティア活動に賛同し、七月にJR矢板駅周辺、十一月には矢板市運動公園での清掃作業を実施。今回で三回目の

活動となり、延べ四十九名の社友会会員の参加を得た。

今年度も会社、組合と連携しSGC活動を実施しますので、会員の積極的な参加をお願いしたいと思います。



17年7月JR矢板駅東口17名



3月長峰公園18名

私の趣味・写真

私の趣味は、人生の中で色々変化してきました。若い時は、鮎つり、盆栽（皐月）、ハイキング等色々やってきました。

盆栽をやる傍ら、夏になると毎週休日（土・日）地元塩谷町の鬼怒川をはじめ、福島県の大川、伊那町と繰り出し、遠い所は秋田県の米代川まで遠征し、休日は家に居ることは殆どありませんでした。

胸元まで水に浸かり、夏は涼しく感じたが、体が冷えるために健康に良くないと思い、年齢と共に止め、老いても出来る趣味は何があるんだろうと考えました。

盆栽は三十五歳の時から始めましたが、趣味が盆栽だと言うと、まだ若いのにと笑われました。「趣味は何ですか」と聞かれる度に、一瞬答えるのに躊躇し恥ずかしい思いをしました。

皐月の魅力は、一本の木に一色の花でなく、色々な色彩の花が咲き誇るのが魅力で続いています。今は、趣味は盆栽ですと堂々と言える様になり、続けて来てよかったなあと思っています。

私が写真を始めたのは、五十五歳の秋に紅葉狩りに行った時、すごく美しいカエデの紅葉に出会い、目（心）に焼き付けてきました。その時撮影してきた写真が、目に焼き付けてきたカエデの紅葉と同様、美しく写真として出来上がったのに凄く感動しました。

このことをきっかけに、今後の自分の健康維持に、ハイキング、旅行等に出かけた時、感動した風景を写真にしてみようと思い、一大決心して一眼レフカメラを購入しました。初めは、ドライブ、ハイキング、旅行

などで写してきた写真が出来上がり、自分が見て又、他人が見ても綺麗だなあと思う写真を取り続けてきました。これ何処どこ写真ね、綺麗だねー、一度行ってみたいね、と雑誌で見る観光写真（通称「絵葉書写真」）を撮っていました。この写真を撮るのも、会社勤めの時は、休みを利用して撮影するので、天候に恵まれないとなかなか良い観光写真を撮影することもままなりませんでした。

写真を始めて六年経った頃、入会したカメラクラブを通して仲間との写真談義や写真展、写真雑誌を見て勉強し、写真の奥深さを知りました。

現在は「観光写真」と言われる写真は止め、四季折々の風景を楽しむ中で、写真による表現を「写す」から「撮る」に変える努力をしています。

カメラで捉える、写真を撮るということは、美しい風景の中の特に美しく印象的な部分を切り取り、カメラとフィルムでクローズアップすることで、風景の中にある「美」の本質的な部分を抽出する行為です。

移り行く時間の瞬間を、感動し、フィルムに記憶させる行為の中で、「ポイント・露出・フレーミング・表現力」をテーマに、人に感動を与えられる写真が撮れたらいいな一と思っています。

「写真展」や「写真コンテスト」への出品は、自分の作品がどう評価されるのかを知る上で大役立ちものです。私も写真を始めて六年目で各種コンテストに入

田代宏明

賞出来る様になりました。
写真展入賞暦は、

- 二〇〇四年 第七回下野写真展 入選
- 二〇〇五年 第八回下野写真展 入選
- 二〇〇五年 第五十九回県芸術祭 入選
- 二〇〇五年 塩谷地区芸術祭 準芸術祭賞
- 二〇〇六年 第九回下野写真展 準特選

皆さんも、写真という表現手段を使って自分の芸術的感性を発掘してみませんか。社友会カメラクラブでお待ちしております。



『ないしょ話』

第59回 栃木県芸術祭 美術展写真部門入選作品

サウジアラビアへの出張時に 酒を持ち込んでしまった体験記

大橋 堅 固



サウジアラビアへは海外向けテレビの商品企画を担当している頃、何度か行っているが、何時も感じるのは典型的なイスラム的な世界であると思う。モスク近くのスピーカーから流れ出るコーランの朗読、一日五回のお祈り、ラマダン時の断食、禁酒、メッカへの巡礼の人々、顔を隠した黒づくめの衣装の女性、それとは対照的な髭面の男性、等がそれである。中でも人々のお祈りについては厳正で、宗教警察が目を光らせているとのこと。

モスクのコーランの朗読を合図に一回約二十〜三十分のお祈りの間は国中のあらゆる活動がストップする。私もサウジ出張時、丁度入国の通関で日没のお祈り時間に当たってしまった、検察官が突然いなくなり、待

たされて手続きを含め約二時間かかってやっと入国できた経験がある。また正午過ぎの頃、代理店との商談がお祈りの為、突然中断されたこともある。

さて、あれは一九九〇年頃のサウジ出張時のことだが、日本を離陸してからまもなく、機内でウイスキーのミニボトルが配られ、私はそれを二本もらい、一本はすぐに飲み、もう一本は後の楽しみに手持ちのატაッシュケースに入れたが、その後、眠ってしまった、その事をすっかり忘れ、そのままサウジの中心的商業都市ジェッダに着き、入国通関時の検査官になんとカバンの中に入っているミニボトルを発見されてしまったのである。

ご存知の様にサウジはイスラムの教えにより禁酒が法で定められており、それを犯せば百叩きの刑に処せられる等、外国人と言えども厳罰である。

こともあろうにその酒を持ち込んでしまったのである。その時検察官は当然の如く、英語でこれは酒ではないかと質問してきた。私は下手な英語で機内での事を何とか説明したが、パスポートは取り上げられそのまま別室に連れて行かれた。別室で待っている間、この先どうなるのだろうと不安で胸が張り裂けそうであつたのを記憶している。

間もなく取調べが始まり、まず私のパスポートが酒の持込等のブラックリストに載っていないかを調べ、これは問題無いと、次に、『あなたはこの国が禁酒であることを知っていて持ってきたのか?』と質問された。『私は禁酒であるのを知っていたが、機内でミニボトルをもらったまま忘れてしまった。』と答えた。

その後、検察官が調書を書き終え、そのミニボトルを携え私について来いと言い、私はその後に従い、どこに連れて行かれるかまた不安が過つた。着いた所はトイレであつた。トイレで何をされるのかと思つたが、そしたらトイレの中へミニボトルの身を捨て、きちんと処理したろうと見せたかつたのであつた。

その後すぐに入国OKされたが、聞くところによると、サウジへの酒の持ち込みはまずブタ箱に入れられてもおかしくないとのこと、私の場合は機内配布のミニボトルであつたこと、ブラックリストに載っていないかつたことにより悪意が無かつたこと、が幸いしてこの程度で済んだと言うことであつた。後になってぞつとし、胸を撫で下ろした次第である。

いずれにしても貴重な体験をしたと今でも思い起こす。

宇治幸朝氏を囲む

有志懇談会参加感想

中野 武久

去る三月十六・十七日肌寒い曇り空の陽気でしたが、春到来の兆しを窺がわせる川津桜が咲き誇る熱海温泉、かんぽの宿に、関西方面から九名、栃木方面から七名の有志が参集し、一泊二日の宇治幸朝氏を囲む懇親会が和やかに行なわれました。

この懇親会の主旨は宇治氏の下でテレビ生産事業に若き情熱を傾けた嘗ての同志が、退役(定年)後も宇治氏を敬い宇治氏と同志との一期一会の機会を設け、親睦を深めるものでした。

私は1959年2月入社以来、初回の海外勤務1963年12月迄の約5年間に亘り宇治氏の下、日本一の生産を誇るテレビ生産事業に携わる機会を得ましたが、その後は再び生産現場に直接復帰する事無く、退役したことから宇治氏並びに同志・諸先輩・同僚共に長らく疎遠となった経過があります。しかしながら、この期間に各位より戴いた絆・経験・知識は、その後の我が人生の肥やしとなり、成長させて呉れ、無事に退役できたことを心から感謝している次第です。

従ってこの懇親会も初参加で、参集される方々の殆どとは三十数年ぶりに再会を果たせる絶好の機会となりましたが、お互いに自己確認出来るか不安でした。

しかしながら、諸兄とお会いした途端にタイムスリップしたように、懐かしい若かりし頃の面々の姿が笑顔を通じて甦り、顔と名前も一致、又、諸兄との想い出、当時の職場の情景も走馬灯のように駆け巡り、さらに歳に拘わらず皆さんの壮健な姿に接し、再会する前の不安心は全く杞憂で、むしろ励みとなりました。

取り分け宇治氏は八十九歳になれましたが、日課として、日舞・お茶・演歌に精励され、更に大阪電通大学の客員研究員として、週一回学生の指導に当たられているとお伺いし、非常な感銘を受けると同時に、我が人生にとっても宇治氏ほっとも尊敬すべき第一人者である事を改めて認識する機会となりました。

参加者全員、宇治氏から長く元氣印で居られる秘訣四箇条を伝授戴きました。その中でも、「常に何事にも挑戦の姿勢で望め」は最も感銘を受けた秘訣でした。この秘訣をしっかりと心に刻み、今後の我が人生に活かして行きたいと思います。

「隼より始めよ」の故事に習い、我が六十才の誕生日(三月二十一日)を以って、禁煙に再々挑戦し、次回の懇親会でその証を披露したいと考えています。

お別れの十七日は東京に所用の為観光バスでの遊覧にご一緒できず、失礼しましたが、斯様な大変有意義な機会を設けて戴いた世話役の方々に心から感謝申し上げ、又、諸兄の健康維持を祈念しつつ感想に代えさせていただきます。次回の再会を今から楽しみにしています。



中央 宇治幸朝氏 を囲む出席の皆さん

社会福祉法人「たかはら学園」

平山 勝

私は『デイセンターたかはら』の運転手として勤務し、午前・午後の送迎の仕事をしています。

『社会福祉法人たかはら学園』との関わりについて紹介し、知的障害児・者への理解を少しでも深めていただきたいと思います。

『社会福祉法人たかはら学園』は知的障害児・者の方々の生活支援・指導を行っており、『たかはら学園（入所・定員三十名）』、『たかはら育成園（入所・定員五十名）』、『デイセンターたかはら（通所・定員二十八名）』などの施設から構成されています。これらの施設では知的障害を持つ方々が入・通所されていますが、職員の寝食惜しまぬ手厚い支援・指導の下、山林に囲まれた田園地帯の自然豊かな丘陵地で伸び伸びとゆとりある生活を日々送っています。

また、矢板市より委託されている「すずらん作業所」や、栃木県と矢板市等より委託されている障害児・者相談支援事業も行い地域福祉の拠点となるよう日々努力しております。

ここで、日中活動で行っている作業学習や各種行事等の一端を紹介したいと思っていますので、ご覧になり理解を少しでも深めていただければうれしく思います。



農芸班：農作物の収穫



全景写真



生活班：空き缶つぶし



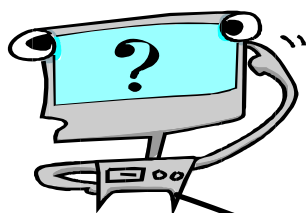
たかはらまつり：職員バンド



茶臼岳山頂にて



和太鼓クラブ：障害者文化祭での発表風景



メビウスクラブ (パソコンクラブ)

入 会 案 内：社友会員は勿論、家族の方も歓迎です。

年会費(4～3月)は、2,000円で、入会時6ヶ月未満の時は、半額の1,000円です。

活 動 内 容：毎月第一火曜日に定例会と、月2～3回の実技講座を開催しています。

今年も、引き続きExcelを勉強中です。又、個人の技量に応じてマンツーマンのレッスンも実施しています。

ホームページ：原稿と写真の選択を終わり、目下ホームページとしての組み込み作業中で、早期に開設できるように頑張っています。

各人が、ページの更新が出来るように、「ホームページビルダー」の教則本を購入し講座の中で勉強するように推進中です。

見 学 歓 迎：上記の実技講座の見学は、何時でも大歓迎です。

実施は、不定期でやっていますので、日程は事務局に確認をお願いします。

入会申込みと

問 い 合 わ せ：事務局 山路 規生(0287-37-0125)

yamajinorio@herb.ocn.ne.jp まで。

会員組織

会 長	仲谷 輝郎	
副会長	古市 正昭(兼会計)	
	高橋 彰	
	永谷 光弘	
事務局	山路 規生	
	木村 正	中村 義雄
	浦川 正司	三友 宏章
	安東 郁哉	山崎 一義
	福本 英之	平山 勝
	日置 久義	宮下 喜代司

平成18年5月現在 以上15名



ホームページ
勉強会風景

歩 こ う 会

●平成 17 年度活動状況

■第 36 回 足尾の備前楯山

H17 年 11 月 13 日 (日) 晴 参加人員 25 名



■第 38 回 足利の深高山・石尊山

H18 年 3 月 12 日 (日) 晴 参加人員 33 名



■第 37 回 上河内の羽黒山

H18 年 1 月 22 日 (日) 参加人員 24 名



■活動内容

栃木県及び近県の山、又は景勝地の日帰りトレッキングで初級・中級を交えて行います。

■平成 18 年 3 月現在の会員数

家族会員を含めて、合計 50 名

●「歩こう会」の運営組織

[会 長] 中村 茂 [副会長] 山上哲夫・増田武司・尾崎亘宏 [会 計] 志賀 実
[鑑査役] 山崎一義・安東郁哉 [幹 事] 城本 昭・福山和夫・細川美生・三浦勝利
片岡一紀

●会員の募集

入会は随時受付しています。年会費 2,000 円。但し 10 月以降の途中入会は半額 1,000 円とします。

●平成 18 年度活動計画

No	実 施 月 日	行	先
第 39 回	H18 年 4 月 9 日	雨巻山	益 子 栃木百名山
第 40 回	〃 5 月 14 日	八溝山	茨城県 関東百名山
第 41 回	〃 6 月 11 日	太平山	栃 木 栃木百名山
第 42 回	〃 7 月 30 日	安達太良山	福島県 日本百名山
第 43 回	〃 8 月 20 日	霧降高原歩道	日 光
第 44 回	〃 9 月 10 日	庚申山	足 尾 栃木百名山
第 45 回	〃 10 月 8 日	茶臼岳	那 須 栃木百名山
第 46 回	〃 11 月 12 日	妙義山	群馬県 関東百名山
第 47 回	H19 年 1 月 21 日	羽黒山	上河内 栃木百名山
第 48 回	〃 3 月 11 日	大小山	足 利 栃木百名山

基本的には冬季を除く、年間 6～7 回は実施します。

上記以外に下見、自己の挑戦等、有志による小グループトレッキングを随時実施します。

問い合わせは 中村 茂 Tel 0287-44-0097

カメラクラブ ニュース

編集：カメラクラブ 志賀 実



田代宏明氏と準特選作品『秋風吹く』

《しもつけ写真大賞展に 準特選入選》

本年四月一日、下野新聞社主催のしもつけ写真展に、当カメラクラブの田代宏明氏が見事準特選となり、表彰された。
この写真展は、栃木県内の写真愛好家や腕自慢が総数約千四百点の作品を応募し、その中から四百点が入選、更にその中から六十点が入賞し表彰された。



第一位作品『幻想！ミニかまくら』

毎日新聞『とちぎワイド』 日報連月例展に連続入選

カメラクラブ幹事の只友将弘氏は毎日新聞の『とちぎワイド』日報連に毎月応募して、昨年四月より一年間継続入選し、本年三月には見事一位に入賞、年間総合獲得ポイントでも第四位となった。



満開の『三春の桜』撮影会実施！

平成18年4月25日

早朝5時に集合した参加メンバー7人は、講師の村上先生と共に東北自動車道を北上、福島県の三春に到着、『三春滝桜』をはじめ『しだれ地蔵桜』や『雪村庵』、『福聚寺の枝垂桜』等、満開の桜をカメラに収め、楽しい撮影旅行となった。



滝桜と記念撮影



『福聚寺の桜』 志賀 実

新入会者を歓迎します！

連絡先： 幹事 只友将弘 ・ 090-3248-7309

ゴルフクラブ

【会員募集中】

ゴルフ同好会は会員相互の親睦と健康増進を目的に、運動不足とストレス解消のため、3～12月まで年間10回の行事を開催しています。

開催は、コンペと研修会を交互に5回開催し、現在全会員71名中32～36名と多くの方の参加を頂いております。

日頃の練習成果を存分に発揮頂く場として、気軽に参加頂くようお待ちしております。
やってみよう又参加してみようといわれる方は下記幹事まで連絡下さい。



スタート前の記念写真：那須小川ゴルフクラブ

平成18年度開催経過と予定

	《第52回コンペ》 3月30日	《第53回コンペ》 5月9日	《第20回研修会》 6月18日	《第54回コンペ》 7月中旬
コース	那須小川	大日向	アローエース	未定
優勝	安藤 八郎	網野 正輝	—	—
準優勝	井村 俊朗	大橋 堅固	—	—
3 位	網野 正輝	岩村 博	—	—

問い合わせ：幹 事 網野 正輝

TEL 0287-43-8016

Eメール：mas-1@lapis.plala.or.jp

新規入会者紹介



会員番号 三四一三
佐藤 龍雄

昭和二〇年二月一六日生

四十年余りの会社勤めを終えここ矢板にて、第二の人生をスタート致しました。

社友会栃木支部の諸先輩の皆様方には何かとお世話に成ることかと存じますが、宜しくお願ひ致します。



会員番号 三四一九
高田 進

昭和二十一年一月八日生

今年の一月に卒業し、現在ハローワーク通いをしています。

毎日が日曜日状態にならない様、今まで出来なかつた趣味（旅行・スケッチ・ウォーキング・ゴルフ等）を増やして、エンジョイしたいと思っています。



会員番号 三四二四
永橋 肇

昭和二十一年一月二七日生

昭和五十三年ビデオ移管以来、矢板の本部で世話になりまし。直近の一年半は亀山駐在で過ごし、一月末に今や第二の故郷となつた矢板に戻ってきました。趣味は読書・旅行・カメラ・スポーツ・ゴルフ（下手）・野球（阪神ファン）卓球宜しくお願ひ致します。



会員番号 三四二五
郡司 一巳

昭和二十一年一月一九日生

このたびSEMC三十六年在職、本年一月退職いたしました。栃木支部社友会への入会を機会に、ゴルフクラブに入会し緒先輩方とのコミュニケーションを図り、心身のスキル向上に努め度。



会員番号 三四四七
金子 民生

昭和二十二年二月八日生

やっと皆さん方の仲間入り宜しくお願ひします。なかなか落ち着かず、現在は東京に単身赴任し、生活の糧を確保しようとして努力しています。早く皆さん方の様に悠々自適になりたいものです。



会員番号 三四四九
青木 正和

昭和二十二年二月一四日生

二月に社友会に入会させて頂きました青木と申します。今はハローワークに月2回通ひ、その他は趣味の旅行、庭いじりで日々を過ごしています。又、昔やっていたギターを再開しようと思っています。今後共宜しくお願ひ致します。



会員番号 三四五六
針原 修五郎

昭和二十一年三月三日生

退職後の第二の人生を歩み出した所ですが、今までやっていなかった事にチャレンジしていきたいと思っています。今やりたい事を整理し無理をせずに充実した生活を送って生きたいと考えています。社友会皆様今後とも宜しくお願ひ致します。



会員番号 三三九四
山本 正和

昭和一八年一〇月六日生

昨年の十月に退職し半年が経ちました。二年半奈良での緊プロが最後の職場となり、勤めを終えることが出来ました。現在趣味の旅行（ドライブと温泉巡り）の計画を立てているところです。今後とも宜しくお願ひ致します。

健康管理室便り

自分の健康は自分で守りましょう

栃木健康管理室 松田美香子

社友会の皆さんこんにちは。そしてお元気ですか？
現役の時よりハツラツとしている皆さんを見かける度に私も嬉しくなります。
誰でも『健康で長生き』を願っているはずですが、体の衰えには、個人差があり同じ八十歳でもかくしやくとしてスポーツまで楽しめる人もいれば寝たきりの人もいます。寝たきりにならないためには、体を鍛えましょう。何でも良いのですが、体を鍛えましょう。寝たきりでも自分の合ったことを見つけ習慣となれば、この自分のものに。特にウォーキングはお勧めです。誰でも簡単に出来ますし、運動が嫌いでもOK。家の周りをウォーキングして楽しむようにしましょう。景色や日当たり、風などの周囲の環境が変わること、継続の意欲につながります。それが日常の習慣になれば生活習慣病の予防や老化防止につながります。(体を動かすと血流が良くなり脳の働きも活発になります)
高血圧の人は血圧が下がり安定しますし、血糖値、コレステロール、中性脂肪も下がってきます。
今年の五月からシャープ健康保険組合では今までの健康づくり運動「健康ゲット」が「生活習慣病改善シート」としてリニューアルしました。
今回同封されていますチェックシートの提出方法などは前回と変わりません。質問等は栃木健康管理室
(0287-44-3973)にお気軽に
お電話してください。
今話題の『メタボリック・シンдрーム』の予防を私達と一緒に頑張りましょう。これから先、何時までも健康で長生きし第二の人生を楽しみましょう。・・・



写真17年度のバザーボランティア風景

自分の健康は自分で守るしかないのですから
・ ・ ・
では、『健康づくり運動』への参加を期待しています。

サマーフェスティバルに

参加してみませんか？

恒例の真夏のイベント・サマーフェスティバルがシャープグラウンドで七月二十九日(土)盛大に開催が予定されています。
家族とお孫さん、又、近隣のご家族も誘って是非参加してみてください。最後には打ち上げ花火も、計画されているようです。
社友会としては、チャリティーバザーを予定しております。
後日会員の皆様方には提供品をお願いを致しますので、其のときはご協力の程宜しくお願い致します。

喜寿・古稀 お目出とう御座います

会員番号	御祝い	お名前	御祝い日
283	喜寿	西脇 仁平	平成18年1月10日
343	喜寿	高橋 実	平成18年3月11日
298	喜寿	吉田 満良	平成18年4月 1日
819	古稀	村上 利夫	平成18年2月 3日
820	古稀	大島 郁郎	平成18年2月10日
826	古稀	印南 悟	平成18年2月25日

《編集後記》

☆ 会報「日光」第十八号をお届けいたします。

原稿の寄稿ありがとうございました。
原稿は、A4に限定していませんので、同封の原稿募集案内をご覧頂き小さい原稿を数多く寄稿頂きます様御願います。
原稿は、随時受け付けていますので、幹事か編集事務局にご連絡御願います。
☆ 十三号よりスタートした、各編集委員がページを受け持ち原稿入力から仕上げと一貫作業をする形も軌道に乗ってきました。

二〇〇六年

新年頭祈願祭に参列

平成十八年の新年を迎え、社友会の代表として岩村博支部長が年頭祈願祭に参列しました。

薄型テレビ市場の激化到来を迎え、この競争を乗り切り会社の益々の発展と社友会皆様のご健勝を祈願しました。



岩村支部長 玉串ご奉奠



新入会員の紹介

新春賀詞交歓会

平成十八年二月三日(金)～四日(土) 一泊ふれあいの丘 シャトー・エスポワールにて
参加者(会員 四十九名、来賓 四名) 計 五十三名



来賓 前田総務部長の挨拶



お久しぶり乾杯



懇親会 全景



元気な仲間たち



今後もよろしく